

# daily コラム

2010年3月9日(火)

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3-5F

㈱メディカル保険サービス TEL 03-6808-1441 FAX 03-6808-1442

Email: info@medical-hoken.com

## 「価値工学」で儲けよう！

製品の開発・改良に長年活用されてきた「価値工学」という方法があります。

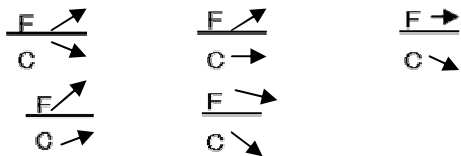
### 「価値工学」とは

価値工学の考え方は「価値(バリュー) = Function(ファンクション・機能) / Cost(費用)」と定義します。

分母の Cost は製造原価(又は仕入れ価格) 分子の機能とは、顧客の満足度が決まる製品の基本機能(冷蔵庫なら冷却のコストパフォーマンスや使い易さなど)と付加機能(冷蔵庫のデザインの美しさなど)のことで、工夫すれば数値化できます。

「価値工学」を簡便に応用する場合、価値を上げる方法を次の5つのパターンをヒントにして改善します。

#### 【価値最大化を図る5つの方法】



は製品の機能を上げ、同時にコスト(製造原価)を下げることによってこの製品全体の「価値」を上げるパターンで、最も理想的なパターン

は製品機能を向上してコストを維持

は製品機能を維持してコストを下げる

は製品機能を大幅に向上し、コストをやや上げる

は製品機能を下げてコストを大幅に下げる

どのパターンも「価値」が向上しますが、改善によってどのようなリスクが生じるか、注意深くチェックする必要があります。

### 「価値工学」を生かそう！

「価値工学」を会社として生かすためには、社員のやる気を高めることが大切で、例えば次のような施策を打つと良いでしょう。

技術者に「価値工学」を学ばせ、製品の価値向上をもたらす経営上のメリットを示して、創意工夫を求め。

技術者の意欲を高めるために、毎年ベテランも若手社員も参加する価値向上・製品開発・改良アイデアコンテストを行って、評価・表彰を行う。

社長が、このような具体的方法で社員に働きかけると、社長のメッセージが的確に伝わり、利益確保へ向けて人と組織が活性化する企業改革が進みます。



「価値工学」で  
儲けよう！